

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・保育所等訪問支援スマイル今里店

公表日 2026年2月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・療育内容に応じて手前と奥のプレイルームを使い分けています。(机上活動と運動療育等) ・運動療育では他店舗の療育施設や公園を活用して十分なスペースを確保しています。	・現状の取り組みを維持し、今後も継続して実施していきます。あわせて定期的に運用状況を点検し、必要に応じて微修正を行うようにします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・人員配置基準より少し多い5~6名の職員を配置しています。	・現状で適切なため、今後も継続して実施していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	12%	・安全面の観点から扉の可動範囲にテープを貼り、視覚化しています。 ・2つのトイレに動物の絵を貼り、お子様が区別しやすい環境を整備しています。	・今後もお子様に分かりやすい環境設定や、安全な環境整備の創意工夫を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	12%	・日々の定期清掃や消毒、空気清浄機の活用で清潔な環境整備を心がけています。	・療育道具の増加に伴い、保管場所の確保と共に道具の整理を徹底していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88%	12%	・個別で集中できる環境や気持ちを切り替えて落ち着ける環境として、個室での対応が可能です。	・お子様の特性に応じた対応ができるように物の整理を徹底し、環境整備を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	・上司との面談で職員個々の目標を設定し、目的意識の明確化や相談しやすい環境が整っています。 ・職員の担当業務が明確で分かりやすいです。 ・業務を実行しながらチェック体制で行動を評価・分析し、改善策を出し、次に活かす流れができています。	・PDCAサイクルが稼働し始めているが、定着化までに至っていないため、継続的に行う体制づくりを強化します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者向け評価表を通じて頂いた保護者様のご意見や要望は職員間で共有・検討し、支援内容や運営面、業務の改善に反映することで、サービスの質の向上につなげています。	・保護者向け評価表で意向把握は行っているものの、業務改善で反映した内容の周知が課題です。今後は、職員間での共有と改善への反映をより明確にまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	・朝礼・終礼で職員が意見を出し合い、情報共有と支援方針の統一を図っています。 ・欠席者にも伝わるよう、議事録を作成し共有アプリで確認できる体制があります。	・日頃のコミュニケーションを通して、職員が率直に意見を出し合える環境を整え、その意見を業務の評価や分析に活かし、継続的な改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	・第三者の役割として、同グループ内の別店舗職員の毎月の書類チェックの体制を整えています。	・外部評価は現在実施していないが、同じグループ内で毎月書類チェックを行うなどの体制を整えています。その際にもった意見を共有して、日々の業務改善につなげています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・外部の研修や事業所内で定期的な研修を行い、職員の力量を高める取り組みに力を入れています。	・職員の資質の向上のため研修の機会の確保を、今後も継続して実施していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・会社のホームページ上で支援プログラムを公表しています。	・常に最新の支援プログラムを作成、公表しているよう定期的に運用状況を点検し、必要に応じて修正していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・五領域にわたるアセスメントを行った上で、お子様の行動の意味を発達心理に基づいて分析、全職員の意見を反映して計画しています。	・今後も個々のお子様に対して適切なアセスメントを行い、それぞれのニーズに合った計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・担当者会議では職員の手応えや工夫を出し合い検討しています。 ・朝礼・終礼で児童の成長、特徴や変化を共有しています。 ・常に職員間で話し合いを繰り返し、支援の方向性を決めています。	・様々な職種職員の専門的な視点からお子様の様子を捉え、意見交換を行いながら、多角的なアプローチを検討し、お子様の最善の利益を重視した支援につなげていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画書は厳重に保管しつつ、閲覧する体制を整えています。常によりよい支援はないか計画に基づいて話し合う機会を確保しています。	・児童発達支援計画は職員間で理解に差が生じやすいため、定期的な確認や情報共有を行い、計画の内容や意図を職員全体で共有することで、計画に基づいた支援の徹底を図ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・グループ共通のフォーマルなアセスメントシートと日々の行動観察を組み合わせて実施しています。	・今後もお子様の状況が分かりやすいような記録作成に努め、日々の行動観察を組み合わせ確認していきます。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・児童の現状や課題を丁寧に把握し、児童発達支援ガイドラインに基づく「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を踏まえながら、必要な支援内容を具体的に設定し、計画に活かしています。	・一部の意見に偏ることがないように、多職種の職員がそれぞれの専門的視点から意見を出し合い、情報共有を深めることで、児童の現状や課題を総合的に捉え、支援内容に反映できるよう努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・月の予定として活動プログラムを事前に全職員で立案すると共に、日々のお子様の興味・関心に合わせた活動をチームで検討しています。	・今後も継続して活動プログラムの立案はチームで実施していきます。必要に応じて修正を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	12%	・運動・作業・心理・言語などの観点から発達段階に合わせた活動プログラムを常に模索し、固定化しないようにしています。	・活動が偏らないように今後も引き続き考えていくとともに、さらに良い方法がないか検討していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・お子様の特性や状況を見極めて、個別・小集団・集団を組み合わせることで課題を設定し、支援を行っています。	・お子様の状況や成長に応じた個別活動と集団活動の組み合わせが十分でない場合があるため、今後は成長の変化を丁寧に捉え、適宜見直しを行いながら、より適切な支援につなげていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	12%	・朝礼で共有しています。 ・事前に活動内容の共有後、臨機応変に役割を分担して実施しています。	・朝礼や終礼でお子様の特性に応じた様々な可能性を出し話し合いながら、チームで連携して支援することを意識していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・終礼で共有しています。また休みの職員にも分かるように議事録として共有しています。	・今後も現状の取り組みを維持し、必要に応じて微修正を行うようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	12%	・毎日上手くいったこと、支援で難しかったこと(問題点)を出し合い、改善策をその都度検討することを徹底しています。	・引き続き、連絡帳で日々の支援を必ず記録し、終礼の際にその日の様子を共有後、今後の改善策や支援内容を考えていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	12%	・半年に一回のモニタリングだけではなく、お子様の成長に応じて期間を変更して見直しを行っています。	・引き続き、お子様に応じてモニタリングの時期は検討して実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・サービス担当者会議や関係機関との会議に児童発達支援管理責任者を中心に必要に応じて、複数職員が同席する体制を作っています。	・会議に参画する職員について、こどもの状況理解に力量の差があるため、今後は情報共有を徹底するとともに、職員育成を進めることで、適切な職員が参画できる体制を整えていきます。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	12%	・お子様の状況に応じて関係機関と連携を行なう体制を整えているが、医療機関等との連携ケースはまだまだ少ないです。	・関係機関連携の体制はあるが医療連携事例が少ないため、同意取得・情報提供の手順整理、相談先(医療・協力機関)との連絡ルート整備を行い、必要時に速やかに連携できる運用を強化していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・併行利用のお子様については、通園先を訪問し、園での様子を直接確認したうえで、個別支援計画を共有し、支援の方向性について共通理解を図っています。また、移行に向けては引き継ぎ資料を作成し、関係機関と情報共有を行うことで、環境が変わっても継続した支援が行える体制づくりに努めています。	・訪問や引き継ぎ資料の活用を継続し、早期から支援の方向性を共有することで、より円滑な連携と継続した支援体制の構築に努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	12%	・必要に応じて、就学の際には個別支援シート(引継ぎ資料)を作成して、切れ目のない支援が行えるように力を入れています。	・今後もお子様の理解者を増やすために、引継ぎには力を入れて取り組んでいきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	75%	25%	・現在は児童発達支援センターとの連携には至っていないが、今後必要に応じて助言をいただく機会を設けています。	・外部専門機関(児童発達支援センター等)との連携をしていくよう検討いたします。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	・日頃は地域の公園や買い物支援・外出イベントで公共交通機関・公共施設を活用しています。	・自店舗で地域のお子様との交流の場は設けられていない。グループ全体では、今年度本社で地域のお子様を招待してのイベントを行いました。 ・地域や他のお子様との交流については、個々のお子様の状況に配慮しながら実施しています。今後も保育所等との連携を大切に、その内容を保護者へ共有していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時にお子様の様子や気になったことは共有しています。	・日頃のお子様の状況を今後も保護者に共有し、発達の状況や課題を共通理解できるように努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・毎月様々なテーマで保護者様の勉強会として子育てセミナーを実施しています。あわせて保護者様の依頼を受けた場合には、個別相談を随時行っています。	・現状の取り組みを維持し、今後も継続して実施していきます。あわせて定期的に運用状況を点検し、必要に応じて微修正を行うようにします。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・運営規程、支援プログラム、利用者負担等については、契約時および必要に応じて、書面や口頭により丁寧に説明しています。 また、保護者の方が内容を十分に理解し、安心して利用していただけるよう、質問や相談にも随時対応しています。	・説明内容の理解に差が生じることがあるため、今後は分かりやすい資料の活用や丁寧な説明を継続し、理解の促進に努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・お子様や保護者様の意向を確認後、その意思を組み込んだ支援計画の作成を行っています。	・今後も児童や保護者様の意思を尊重し、それを反映した計画を作成していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・児童発達支援計画の原案を作成後、内容を分かりやすく説明し、保護者の意見や要望を反映した上で本計画を作成し、同意を得ています。	・お子様の具体的な状況を分かりやすい言葉で伝えるとともに、成長の可能性や今後の見通しが伝わるよう、保護者様が未来に期待を持てる表現心がけています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・定期的なモニタリングだけでなく、個別相談やグループ相談にも力を入れています。保護者様の不安軽減につながるよう、より具体的な助言の発信に努めています。	・個別相談において多岐にわたる子育ての悩みに適切に対応できるよう、職員の知識や情報量の向上に努めています。また、他の保護者様と悩みを共有し合い、解決の糸口を見つけることで、相談することの良さを実感していただける機会の提供にも取り組んでいます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	12%	・毎月実施している子育てセミナーでグループ相談を行い、保護者様同士が交流できる場を積極的に設けています。また、今年度初の取り組みとして、保護者様やきょうだいが参加できる運動会を実施し、きょうだい同士の交流や家族を支える場の提供に力を入れました。	・2025年5月に保護者様やご家族も参加していただけの、親子運動会を開催しました。高評価をいただいたため、今後は年に3回くらいの頻度で定期的に家族参加型のイベントを行ってきたいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・LINEや対面での個別相談の場で、相談などを受けています。	・相談や申し入れに対しては今後とも迅速に対応させていただきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・ブログやインスタ等で様子を伝えています。 ・イベントカレンダーを配ることで1ヶ月の予定を共有しています。	・今後も定期的な発信を行っていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88%	12%	・個人情報の取り扱いに関する研修を行い、職員の意識を常に高めています。	・研修は継続しつつ、個人情報の取扱い(保管・閲覧権限・持出し・廃棄)の運用点検を定期化し、ヒヤリハットの共有を通じて再発防止と日々の意識を全職員が持つように努めてまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・お子様には、ジェスチャーや絵カード・文字カード、タイムタイマーを活用し、分かりやすい意思疎通や見通しの提示に努めています。また、外国籍の保護者様に対しては翻訳アプリを活用し、円滑な情報伝達が行えるよう配慮しています。	・お子様や保護者様の状況に応じて情報伝達方法を選択できるよう、手段の種類を増やすとともに、支援方法の統一と職員間での共有を進め、より分かりやすい情報伝達につなげていきます。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	・スマイルでのお祭りなど地域の方にもチラシを配り集客しています。今年は会社全体で地域向けのイベントとして夏祭りと冬祭りを、地域住民の方を招きました。	・今後も地域に根付いた事業所になるために、どのような取り組みをすべきか検討し、形にしています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・各種マニュアルを策定し定期的に研修を実施しています。	・今後も各種マニュアルに沿って訓練を行い、当日欠席の職員や保護者様にも共有していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・災害時の各職員の動きを確認し、定期的な避難訓練を実施しています。訓練後の振り返りを常時行い、次回の訓練につなげています。	・災害発生時に全職員が適切な対応ができるよう、意識して今後も訓練を行っていきます。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・利用当初の面談で、既往歴や服薬について書面に記載していただいた後、聞き取りをしています。必要に応じて服薬情報やてんかん発作等の対応について医療機関の文書を提出して頂きます。	・利用開始時だけでなく、定期的に保護者へ聞き取りを行い、服薬・予防接種・発作状況を更新します。あわせて所定の様式に記録し、全職員がすぐに確認できる体制を整え、緊急時に迅速かつ適切に対応します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	12%	・お子様によっては、アレルギーの症状やその時の対応について医療機関の文書を提出して頂いています。 ・アレルギー対応が必要なお子様は食事の際の食べる場所(部屋を分ける)、持参おやつ等、個別の対応を実施します。	・アレルギー対応が必要なお子様は、職員間で周知しているが、引き続き情報の共有を徹底していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・年間の安全計画に基づいた定期的な研修や実践訓練(避難訓練、感染者・発熱時の対応、嘔吐物処理等)を行い、職員の力量を高める取り組みに力を入れています。	・現状の取り組みを維持し、今後も継続して実施していきます。あわせて定期的に運用状況を点検し、必要に応じて微修正を行うようにします。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・年間の安全計画は事業所内に掲示しています。職員研修は会社の研修スケジュールに沿って毎月行っています。	・保護者様への周知が十分ではないため、今後は、保護者様との共通連絡アプリの活用、掲示や資料配布にて実施予定や訓練内容、実施後の様子を分かりやすく共有し、保護者様に安心していただけるよう努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・その日あったヒヤリハットや事故を共有し記録しています。その際には再発防止に向けて人為的・物理的な原因を見極めた上で対応を考えています。	・今後も終礼の際にヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を徹底し、同じことが起きないように対応を統一していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待研修については、具体的な事例を取り上げてより実践的な内容を行っています。 ・日頃の職員の心構えとして、変化を敏感に捉える力や違和感に気付く力を育成しています。	・定期的に研修機会を確保し、全職員が共通理解を深めることで、虐待防止に向けた適切な対応を徹底します。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束の職員研修を行い、意識を高めています。 ・実際に必要な場合は、保護者様と身体拘束についての同意書(個別支援計画に記載)をかわし、組織的に決定して実施する体制が整っています。	・今後も事前の了承を得たうえで、やむを得ない場合の認識を職員と保護者様の共通認識のもと実施していきます。